

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** です！
京都市会議員



発行：2025年3月30日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

「生活保護基準の引き下げは違法」 大阪高等裁判所判決

3月13日に大阪高等裁判所で行われた「生活保護基準引き下げ処分の取り消し」を国に命じる判決が出されました。国と京都市を相手に生活保護基準の引き下げ取り消しを求めて起こされた裁判で、京都地裁では原告が敗訴し控訴していました。今回の大阪高裁の判決は、国家賠償請求こそ認めませんでした。が、「原告らの置かれた厳しい生活実態を真摯に受け止め、国が行った生活保護基準引き下げを裁量逸脱で違法」としました。全国29地裁で提起された同訴訟では、国家賠償まで認めた名古屋高等裁判所を含め22件もの勝訴判決(地裁19件、高裁3件)が出されています。京都市は、国と相談して上告する方向で考えているという事なので、「本市においては、今回の判決を重く受け止め、上告しないことを求める。また、国に対して、生活保護制度が健康で文化的な生活を保障する制度となるよう、不当に引き下げられた生活保護基準を2013年の引下げ前に直ちに戻すように、本市が要請することを求める。」と、上告しないように申し入れました。



京都市は上告すると申し入れる共産党市議員団



予算議会終了 国保料の大幅値上げ撤回を求めて徹底論戦！！

2月17日～3月25日の、来年度予算を審議する議会が終わりました。日本共産党市会議員団は、補正予算と本予算の組み替え提案を行い、財源を示して、



西野さち子 委員
(共産党 伏見区)

税金の使い方を見直すべきと議論してきました。国民健康保険料の平均10.35%もの大幅値上げは、収入の少ない世帯ほど上げ幅は大きく、予算特別委員会で西野さち子は「年収100万円の単

身世帯で国保料が15万4820円で8150円の負担増、年収250万円の3人世帯では44万4220円と2万2150円の負担増になる。値上げされれば保険料が払えない世帯が増え、医療から遠ざけられる市民が増えることになる。」「京都市は黒字続きで来年度も黒字の見通しだから、黒字分を国保に回すべきだ」と質しました。市長総括質疑で市長は「国保加入者は市民の2割。2割の市民に多額の税金は使えない。滞納相談で10割負担の世帯が2200世帯に減った」と答弁しました。2割の市民のいのちを守ることが市長の役割です。さらに保険料滞納世帯に窓口10割負担はできません。税金の使い方を変える必要があります。

東部クリーンセンターの跡地は、土地は民間に売却しないで市民のための活用などを求める1380筆の請願署名が出され、3月17日の総務消防委員会でも審議されました。今議会では請願審議だけでなく、予算特別委員会でも西野さち子が質問し、市民の皆さんの声を届けてきました。昨年の計画当初は、売却しかなかった京都市ですが、「売却が長期賃貸の2択ではなく、市の責任で活用すべき」の質問に対し「市民の声を聴く」と言い始めました。京都市は、3月19日にミータス山科醍醐の取り組みの中で、東部クリーンセンターの跡地について、「新しい複合図書館」「大規模な緑地」と発表しました。老人保養センターがどうなるのか、市民の声が生かされた計画になるのか、まだわかりませんが、市民の声が京都市を動かす。さらに運動を広げましょう。



東部クリーンセンターの跡地は市民の声を活かすべき

困ったときは…
日本共産党の生活相談所へ
毎週月・水・金曜日
午前10時から午後5時
まずはお電話ください!!

☎621-6717

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん 赤旗

日刊●月3497円
日曜版●月990円